



## 向島中学校区 < 3 学区合同 > 小中一貫教育校創設協議会だより

※向島中学校区の3学区と4校PTAで組織する創設協議会が発行しています。

第①号

平成26年11月発行

# ～すべては子どもたちの未来のために～ 小中一貫教育校創設に向けての取組を開始しました！

## 第1回「創設協議会」を開催

8月27日、『向島中学校区小中一貫教育校創設協議会』の第1回目の会議を持ちました。

会議では、協議会の進め方を決定したうえで、検討課題を整理し、取組スケジュールを確認しました。また、協議会の検討・取組内容については、本だよりの全戸配布により地域住民の方々に周知するとともに、随時、学校で意見や質問を受け付けることとしました。

今後、開校準備に係る様々な検討課題を協議・決定し、必要な取組を進めていきます。関係3学区と4校PTAが力を合わせて、夢と希望が溢れる学校づくりを目指していきます。



## 4校PTAによる取組も開始

創設協議会が発足されたことを受け、9月19日、各校PTAの本部役員や特別委員会委員等で構成する『4校PTA代表者会』を発足させました。

標準服やPTA組織などの保護者に深く関わる課題については、本代表者会で検討を進めていきます。

4校のPTAが一丸となり、子どもたちが安心して開校の日が迎えられるように全力を尽くします。

## いよいよ新校舎の建設に向けての作業が始動

31年度の開校に向けて、小学校1年生から中学校3年生までの9学年全ての子どもたちが共に学ぶことができる最新の校舎が、二の丸北小学校敷地に建設される予定です。今年度、京都市では基本計画（校舎配置や教室配置等）の策定作業が進められます。

計画の策定に際しては、より良い教育環境の実現はもとより、新校舎が地域のシンボルとなり、地域の皆様に愛される学校とするために、保護者を中心とするワークショップを実施し、行政の方々と共に知恵を絞ることとしました。



▲新校舎が建設される二の丸北小敷地

10月14日に第1回目のワークショップを実施しました。詳細は裏面をご覧ください。

ご意見やご質問などがありましたら、各学校までお寄せください。

■ 向島南小	TEL 602-2824	FAX 602-2825	e-mail mukaijimaminami-s@edu.city.kyoto.jp
■ 二の丸北小	TEL 622-4684	FAX 622-4623	e-mail ninomarukita-s@edu.city.kyoto.jp
■ 向島二の丸小	TEL 622-9001	FAX 622-9045	e-mail ninomaru-s@edu.city.kyoto.jp
■ 向島中	TEL 623-0512	FAX 623-0513	e-mail mukaijima-c@edu.city.kyoto.jp

～こんな学校できたらいいな～  
**新校舎建設のワークショップを開催**  
 平成26年10月14日(火) 於:向島南小学校会議室

10月14日、4校PTA代表者会のメンバーに、3学区の地元代表、4校の校長先生・教員、京都市の担当者の方々(約40名)が一堂に会して、『こんな学校できたらいいな』をテーマにしてワークショップを実施しました。“子どもたちに素晴らしい教育環境を”合言葉に、新しい学校への夢や期待を語り合いました



**1** 山田豪男創設協議会代表の挨拶でスタート。本日は、実現の可能性は気にしないで、自由な発想で、色々なアイデアを出そうと呼びかけられました。



**2** 基本的な敷地条件の説明を受けた後、学区や学校の枠を超えて4つのグループに分かれ、自己紹介した後、全体交流会の発表者を決定しました。




**3** 各自が小中一貫教育校のイメージやアイデアを書き出し説明した後、グループ内で意見を整理しました。なごやかな雰囲気の中で活発に意見が出されました。



**4** 最後に、各グループから話し合いの内容を発表し、全員で意見交流しました。子どもたちの未来のため、地域の発展のために、真剣に議論しました。

たくさんの意見やアイデアが出されました。その一部を紹介します。

ハード関連	●校舎全体	夢のある校舎/光がいっぱい入る明るい校舎/ゆとりのある校舎	
	●教室	広くて明るい教室/音楽室の充実した音響設備/広く明るく温かい図書室/図書室の充実した蔵書/自習室/華道や茶道が楽しめる和室/明るく広いランチルーム/各学年の交流スペース/学校と地域共有の多目的室・ホール	
	●管理諸室	教師が子どもと話し合える談話室/教職員用シャワー室	
	●体育館	体育館は大・小の2フロア/体育館は校舎内	
	●プール	屋上にプール/室内にプール/水位調整できるプール	
	●ICT環境	どこでもパソコン・タブレットが使用可能/最新のICT機器	
	●校舎周り	緑や自然がいっぱい/環境学習ができる	
	●運動場	広い運動場/安心して思いっきり遊べるスペース/充実した遊具/ステージ	
	●屋上・中庭	屋上庭園/全学年が交流できる中庭	
	●共用スペース	清潔さを維持できるトイレ/登校が見渡せる広い玄関/広く明るい廊下/エレベーター	
	●屋内環境	内装に木をたくさん使用/エコ・省エネ/ソーラーパネル	
	●安心安全	最新の防犯システム/死角のない校舎配置/バリアフリー化/通学路の安全対策	
	●防災拠点	水害時の避難施設/避難所(体育館)は2階以上/自家発電/屋上にヘリポート	
ソフト関連	●学校像	活力のある、生き生きとした学校/誇りをもてる学校/心の豊かな個性を大切にする学校	
	●子ども像	主体的に学ぼうとする姿勢/お互いを認め高め合うことのできる子ども	
	●教育活動	体育祭や文化祭などの行事の充実/農園作業など自然との触れ合い/5・6年生から部活動に参加/茶道等の日本文化の学習/中国語・英語等の外国語学習	
	●学校生活	学年の枠を超えて学べる/9学年合同による行事・活動	
	●教職員	きめ細やかな指導に必要な教職員数	

※建設法上の規制や技術的問題、校舎全体の配置や教育上の判断、予算等の制約があり、全ての意見が実現されるわけではありませんが、今後も様々な視点から検討を進めていきたいと思ひます。

**次回**

今後、京都市において今回のワークショップの意見も反映させた基本計画(案)が作成されます。次回は、その計画(案)を基に具体的な検討を進めます。